

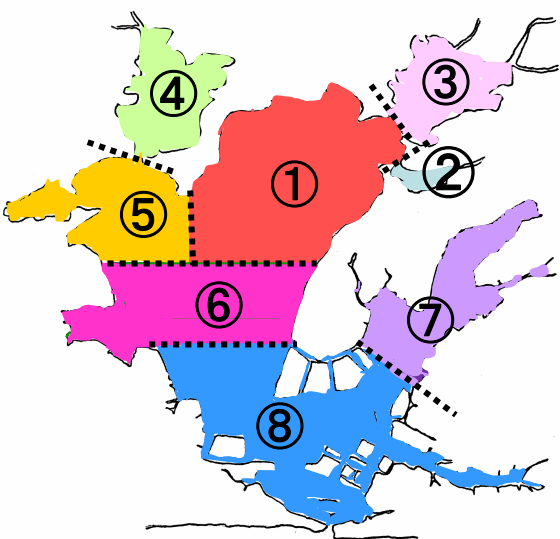


魚や貝に被害を与えるプランクトンについて 注意報・警報の発令基準を設けています。

	被害を与える生物	基準値(細胞/ml)	
		注意報	警報
ヘテロカプサ・ サーキュリスカーマ 	カキ・アサリ	50	500
カレニア・ミキモトイ 	カキ・アサリ・ 魚類	100	(魚類) 500 (貝類) 1,000

- 注意報・・・すぐに漁業被害は起こしませんが、今後の動向に注意してください。
- 警報・・・漁業被害を起こす数に増える恐れがあるので、注意してください。

注意報・警報の発令・解除は、図に定めた海域ごとに行います。
発令された海域では、漁業被害を防ぐため、以下の処置をお願いします。



注意報・警報が発令されたら・・・

(○・・・注意報・警報のとき ●・・・警報のとき)

◎カキ養殖の方

- ① 発令海域⇄その他の海域 のカキ移動はさけてください。
- ② カキは早めの出荷をお勧めします。

◎アサリ採貝の方

- ① 貝の選別等は現地で行い、採った貝を別の場所で再び海水に入れないでください。
- ② 深刻な貝のへい死が予想される場合、採貝連合会を通し採貝の一時中止をお願いする場合があります。

◎魚を採る方、魚の蓄養施設を使う方

- ① 今後のプランクトン情報に、特に注意してください。
- ② 魚類は、なるべく早く出荷することをお勧めします。
- ③ 湖水のかけ流しによる蓄養はなるべくさけ、エアレーションや循環ろ過による蓄養、活魚から鮮魚への出荷切り替えなどをおすすめします。

* これらのプランクトンは、人体への被害は起こしません。

* 貝毒の原因プランクトンには、「浜名湖貝毒対策実施要領」で、基準値や対応が別途定められています。